

当院で肺の重粒子線治療を受けられた局所進行肺がんの皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、末梢に発生した肺腫瘍に対して重粒子線治療にて1994年11月以降に行われた局所進行肺がんの治療成績や有害事象についての調査・解析を計画しています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[研究課題名] 局所進行肺癌に対する重粒子線治療の後ろ向き観察研究

[実施期間] 許可日～2023年3月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[研究責任者] 野元昭弘

[研究の目的] これまでも過去にQST病院で行われた局所進行肺がんに対する重粒子線治療の効果と有害事象に関する調査は行われてきました。本研究では、この調査を継続するとともに、画像特徴量抽出や機械学習などの新しい解析手法を用いて、治療効果を最大化し有害事象を最小化するために役に立つ情報を解析することを試みます。

[研究の対象・データの利用方法]

●対象となる方々

1994年11月1日～2021年3月31日に重粒子線治療を開始された局所進行肺がんの患者さん

●利用する情報及び利用方法

研究実施期間中の解析時点で確認できる病気及び治療に関する情報や画像データなどを用います。
新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

患者さんの権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することはあります。研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（又は代理人の方）は、2021年8月31日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。 期限を過ぎた後でお申し出いただいた場合でも、可能な限りデータを解析から取り除きますが、個人情報を切り離して集計された情報は取り除けない場合があります。そのような場合であっても、患者さんの個人情報が公表されることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

QST病院 事務課

電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

